

韓国語を学ぼう

6月28日(木)・29日(金)
7月5日(木)・6日(金)
南長野JCルーム

私達の交流事業にて通訳でお馴染みのチェ先生を講師としてお招きし六月二十八日・二十九日と七月五日・六日の二日間にて計二回の韓国語講座を開催しました。チェ先生が情熱を持ちながら教えて戴いたことで、私達も

家族を交えたJCI KOREA 西大邱訪韓事業

7月13日(金)・15日(日) 大韓民国・西大邱

七月一三日(金)〜七月一五日(日)二泊三日の行程にて大韓民国・西大邱の地へ行ってまいりました。今年の訪韓事業は、メンバー家族を含み一四名にて参加してまいりました。初日は大邱スタジアム見学、二日目は公式LOM訪問、東城路での観光、浦項での歓迎レセプション。どの場面でも西大邱JCメンバーの厚い歓迎ぶりに、私達一同とても感激し楽しく過ごすことが出来ました。またお互いの家族との交流により例年になく交流が出来たと感じています。私自身三回目の訪韓事業でしたが、過去の出来事や何かしらのトラブルが発生しており、今年も最後の最後に順りのフライトがキャンセルとなってしまうというアク



西大邱青年会議所 訪日歓迎レセプション
10月6日(土)・7日(日) ホテル国際21

一〇月六日(土)・七日(日)と二日間にあわせた、二九回目の訪日事業を行いました。姉妹JCであるKOREA西大邱青年会議所のメンバーとの交流会。約八時間の道のりを経て長野にお越し下さいました。

昨年の東日本大震災に続き、今年は竹島問題、日本と韓国の政治情勢が険悪ムードの最中、開催を危ぶむ声もありましたが、二八年に渡って先輩諸兄が築かれてきた絆を今年も絶やすことなく、翌年の訪日三〇周年に向けて絆を繋ぐことが出来ました。

成田空港で、チョ・ビョンフア会長をはじめとする西大邱青年会議所メンバー一〇人をお迎えした後、南長野青年会議所のLOMを訪問。西大邱から韓国の伝統工芸品である「弓矢」を頂戴いたしました。人間国宝の方が制作された貴重な弓矢で、西大邱の方々がこの交流にける想いを感じていただきた。チョ・ビョンフア会長、ありがとうございました。

そして、ホテル国際21で歓迎レセプション。南長野青年会議所メンバーからは八割の方が出席し盛大に開催することができました。レセプションでは松代に伝わる無双直伝流の剣術を真剣での披露があり、場内は静寂開演。シンと静まりかえり、その太刀の迫力に両国メンバー一同、息をのみながら鑑賞しました。次に、江戸時代に庶民の間で流行した、風情漂うお座敷遊び「投扇興」の披露。扇子を的に

下城聖一郎 委員長所感

私は委員長の職責を拝命した際に、故郷である松代で何かしらの事業をしたいという思いが、とても感慨深いものがありました。そしてこの事業を成功させるべく、担当メンバーはもちろんその他メンバーのみなさんが本当に一生懸命にご尽力戴いたこととても嬉しく感じております。

さて、今回の訪日事業に参加してくださったメンバーの皆様は色々と感じたことがあると思います。私は、顧問のバク・ソングルさんが若いメンバーへの面倒見がよく、色々な言葉で気配り心配りが出来たと感じました。そして、例年感じることですが上下関係が感じられてくることは、私達も見習わなくてはならない点であると感じました。

今回の訪問団は一〇名の内、バクさんのようなJC歴二〇年という方と、四名は入会一二年目というメンバーにて構成されており、ベテランから若手へ伝えなければならぬことなど、テーマを持って訪問されてきたような気がします。また自分自身、多くのことを学ぶことが出来ました。

最後に、毎年私達の交流を温かく見守ってくださる長野国際親善クラブ小出会長様、そして西村会長初めとするシニア会の皆様、そしてこの絆を絶やさないことを報告申し上げ感謝の言葉に代えさせて戴きます。本当にありがとうございました。



今しか会えない仲間がいる 今しかできないことがある

会員募集コーナー！

南長野青年会議所は、新しい仲間を募集しております！

お問い合わせ先 南長野青年会議所事務局
026-292-2310
E-mail: minaminaganojc@mtg.biglobe.ne.jp

会員拡大 必達25名

幻想的な癒やしの空間へ… 60000球のイルミネーション!!

The 5th Anniversary MINAMINAGANO FESTIVAL 2012

南長野フェスティバル

11月23日(金)〜12月24日(月)

イルミネーション点灯時間 17:00〜22:00

会場 南長野運動公園 入場無料

主催：公益社団法人南長野青年会議所
共催：篠ノ井地区観光振興協議会

編集後記

先日、皆さんも一度は口にされたことがあるリンゴ「シナノ・ゴールド」このリンゴがイタリアで注目されているというニュースがありました。黄色い色をしたリンゴはまさにゴールドで、ジュシーな美味しさで私も大好きです。イタリアから農業関係者がりんご園に視察に訪れ、イタリアでの栽培を検討しているとのことでした。

神の言葉で「脚下照顧」という言葉があります。自分の足もとをよく見よという意味ですが、私たちの生活はグローバル化になりたくさんの情報や技術、物、人が入ってくるようになり、一見、便利で豊かですが、それに流されてしまい自己を見失うことが多いように感じます。

このシナノ・ゴールドは誕生に十六年の月日がかって誕生した品種です。アメリカ産のゴールドデリシャスと日本産の千秋をかけあわせて、長野という気候風土の中で長い長い年月をかけて生み出した地元ならではの名産です。

私たちは今、この地元を見返すことが問われているのではないのでしょうか。

総務委員会 池田 直哉



2012年度 Junior Chamber International Minaminagano 南長野青年会議所

Step by step
心が豊かなまちづくりへ
そして創造しよう
未来のJAYCEEを



今しか会えない仲間がいる 今しかできないことがある

会員募集コーナー！

南長野青年会議所は、新しい仲間を募集しております！

お問い合わせ先 南長野青年会議所事務局
026-292-2310
E-mail: minaminaganojc@mtg.biglobe.ne.jp

会員拡大 必達25名

公益社団法人南長野青年会議所 第2回通常総会

開催日：8月28日(火)
開催場所：JAグリーン長野・グリーンパレス

2013年度理事長予定者 綿貫 昌夫

八月二十八日(火)一八時三〇分よりJAグリーン長野・グリーンパレス三階にて第二回通常総会が開催されました。本年は公益元年となりいろいろ心配がありましたが無事前半事業も終えることが出来ました。第一号議案では後半事業に必要な収支補正予算も無事承認され後半がスタートいたします。また第二号議案では二〇一三年度理事長予定者並びに監事予定者の発表があり二〇一三年度の理事長予定者に綿貫昌夫君、監事予定者に田村嘉邦君が紹介され全会一致で承認されました。また第三号議案では二〇一三年度理事並びに正副議長予定者が選任され、本年度後半事業並びに次年度予定者が動き出しました。



篠ノ井駅前オレンジ化計画

七月一四日(土)に「篠ノ井駅前オレンジ化計画」と題し、篠ノ井駅前通りの街灯にパルセイロ応援のフラッグ六〇枚と、アスベス篠ノ井二階壁面に巾一メートルの横断幕を取り付けいたしました。

取り付け前には、ご指導・ご協力を頂きました篠ノ井地区住民自治協議会の渡辺一正会長にご挨拶を頂き、パルセイロキャプテンの大橋良隆選手、フォワード堤隆裕選手に「本日のフラッグを取り付けて頂きました。セレモニーだけでなく、実際の取付作業にも積極的に参加して頂いたパルセイロサポーターの皆様、本当にありがとうございました。

「皆様がこの通りを気持ちよく通れるように試合で勝ちます」との大橋キャプテンの言葉とお礼、その日パルセイロは三ー一で快勝いたしました。



黎明の鍵の伝達 左・大平理事長、右・綿貫理事長予定者

2013年度理事予定者紹介	
理事長予定者	君君氏 君君君 君君君 君君君 君君君 君君君 君君君 君君君 君君君 君君君
直前理事長	綿貫 昌夫
外部監事予定者	近藤 秀久
監事予定者	田村 嘉邦
副理事長予定者	月津 俊和
〃	松本 章行
〃	久保 伯英
〃	小口 徹
〃	山口 一
〃	宮尾 俊之
〃	小宮 弘章
〃	酒井 文郎
〃	金田 隆一
〃	池田 直哉
〃	倉石 卓也
〃	渡邊 英祐
〃	東方 竜也
〃	中島 功博
〃	高山 至文
〃	宮下 嘉博
〃	高山 博
事務局次長予定者	
事務局次長予定者	

信州 かがり火

Go to J

AC NAGANO PARCEIRO

パルセイロフラッグ



6月例会

6月15日(金)

JAGグリーン長野・グリーンパレス

「伝える気持ち、伝わる言葉」

リーダーに必要な言葉力とは

企画担当 ■ 会員指導力委員会

六月一日(金)にJAGグリーン長野・グリーンパレス三階にて、ロジック・アンド・エモーション代表・佐々木繁範氏をお招きし、六月公開例会を開催いたしました。

これからの時代を担うリーダーや経営者にとって、仲間を背中を見せ引く張っていかなくとも一つのリーダーシップではあります。しかし、今の混迷する時代を乗り切るには、相手に自分の気持ちをストレートに伝えることで、一層のパワーとなるのではないかと考えました。そして相手に共感してもらえたり、感動を与えられるような言葉の発信力を身に付けることで会社、そして地域を引っ張っていくことを目的として開催しました。

そして、私たちは人前で話すことが多いことから、話の組み立て方、想いの伝え方、共感、感動を生むスピーチの勉強をしました。JCメンバーと一般の参加者には一つのテーブルに四人ずつ混ざって座ることで、新たなコミュニケーションも生まれることを期待しました。



講師 佐々木繁範氏



委員長所感

関 裕司

六月例会「コミュニケーション・セミナー」伝える気持ち、伝わる言葉」リーダーに必要な言葉力とは」を開催させて頂きました。

JC入会以来、人前で話す機会が大変増えました。私自身、人前で話すことには抵抗はなく、何をどう話そうか楽しみなくらいです。しかし、JC入会以前は緊張したものでした。ただ、自分が伝えようと思っていることが伝えられていくかどうか。それは、今も伝えられているのか疑問でした。また、「人に想いを伝える」という点では、会員拡大においても、伝える気持ちや想いを伝える力を身に付ける必要があると思います。本例会を企画させて頂きました。

講師に、リーダーシップとコミュニケーションを専門とします、佐々木繁範氏をお招きし、話の組み立て方、想いの伝え方や共感、感動を生むスピーチを自身の体験談を交えながらご講演頂きました。

佐々木先生には、会員の拡大という点も踏まえて頂きまして、参加者にJCの魅力の発信、またメンバーにはJCの良さを再確認する時間を過ごす事が出来ました。本場にありがたいご講演でした。その結果、参加者から二名の方が、JCの魅力、運動に賛同して頂き、入会に至る事となりました。これからもこの事業で学んだことを一人一人が実践していくことで、自分のスピーチ力の向上やJCの魅力の発信、伝播していければと思います。参加して頂きました皆さん、そして入会頂きました、真岸君、河内君ありがとうございました。

7月例会

7月29日(日) 篠ノ井市民会館

東日本大震災支援チャリティー JAZZ MUSIC CAFE FEST SWING GIRLS SUMMER CONCERT

企画担当 ■ 社会開発委員会

七月二十九日(日)に篠ノ井市民会館にて(公社)南長野青年会議所七月公開例会『東日本大震災支援チャリティー JAZZ MUSIC CAFE FEST SWING GIRLS SUMMER CONCERT』を開催いたしました。

本事業の趣旨として、東日本大震災による震災、大津波の災害で親や家族を失ってしまった子供たち(震災孤児・遺児)の心のケア、支援を目的にコンサートの入場料を全額、「あしなが育英会」を通じて寄付させて頂いたことを目的に開催いたしました。

チャリティーコンサートで演奏していただいたのは、二〇〇四年、矢口史靖監督、映画「スウィングガールズ」のモデルになった長野県立蓼科高等学校ジャズクラブ(JAZZ☆CANDY)の皆様。約二時間の演奏で、会場に約四〇〇人が詰めかけ、高校生たちの奏でる本格的なジャズの音色を聴き入っていました。

本事業の趣旨として、東日本大震災による震災、大津波の災害で親や家族を失ってしまった子供たち(震災孤児・遺児)の心のケア、支援を目的にコンサートの入場料を全額、「あしなが育英会」を通じて寄付させて頂いたことを目的に開催いたしました。

本事業は、昨年委員長を仰せつかり、当初私自身が思い描いていた例会そのものとなりました。寄付を目的の開催として収益を伴う事業でありましたが、当初の不安とは裏腹に大変多くの来場者で会場が埋まり、とても感激を受けました。例会開催に際し、メンバーの皆様にはチケット販売のご協力をいただき、最終的に四五八、〇〇〇円という心温まる寄付金が集まりました。後日、あしなが育英会様に全額寄付させていただきますことをご報告いたします。今後事業の形は違っても復興支援に関する事業の開催に期待し、さらに南長野地域から被災地へ元気を届けて参りたいと思います。ありがとうございました。



この支援金は、八月二日(木)に全額「あしなが育英会」を通じて寄付させて頂きました。ご来場いただきましての皆様、誠にありがとうございました。また、演奏いただきました蓼科高校ジャズクラブ(JAZZ☆CANDY)の皆様、心に残る大変素晴らしいジャズを演奏していただきました誠にありがとうございました。

本事業は、昨年委員長を仰せつかり、当初私自身が思い描いていた例会そのものとなりました。寄付を目的の開催として収益を伴う事業でありましたが、当初の不安とは裏腹に大変多くの来場者で会場が埋まり、とても感激を受けました。例会開催に際し、メンバーの皆様にはチケット販売のご協力をいただき、最終的に四五八、〇〇〇円という心温まる寄付金が集まりました。後日、あしなが育英会様に全額寄付させていただきますことをご報告いたします。今後事業の形は違っても復興支援に関する事業の開催に期待し、さらに南長野地域から被災地へ元気を届けて参りたいと思います。ありがとうございました。



水口 英徹



8月例会

8月4日(土)・5日(日)

長野市青少年練成センター

サマーキャンプ in 2012

企画担当 ■ 青少年委員会

八月四日(土)、五日(日)に長野市練成センターにてサマーキャンプ in 2012を開催致しました。この事業は青少年育成の観点から、どんな状況の中でも大切なことは仲間を大切にし絆を育み、そして協力し合い少しでも良い方向に変えようとする想い、行動力、団結力だと考える中、キャンプを通して仲間と絆を育む場を設け、子どもたちの自主性と自立性を伸ばし、小学生同士交流を計り絆を深めることにより、子どもたちがこれから生きていく会社が良くなることをお願い当事業を実施いたしました。



委員長所感

丸山 正紀

富士ノ塔山登山では高学年に交じて一年生も奮闘し、高学年のお兄さん、お姉さんの協力のもと無事登頂していました。カレー作りでは、日頃からお母さんのお手伝いをしていてるようで、上手に包丁などを使いこなし、積極的に作業に取り組んでくれました。

子どもたちは初対面であっても、仲良くなるのに時間を要さず、すぐに仲良くなり、協力しあって生活を共に送っていました。二年連続での開催になりましたが、二年連続でご参加頂いた児童も多数いましたし、「キャンプ楽しかった、また来年も参加したい」と言ってくれる児童もいましたので、素晴らしい事業でありました。

また来年も開催できるよう、準備していききたいと思います。

9月例会

9月9日(日)

長野市立下氷鉋小学校

南長野交流運動会

企画担当 ■ 南長野の魅力創造委員会

九月九日(日)に下水鉋小学校体育館にて(公社)南長野青年会議所九月公開例会『南長野交流運動会』を開催いたしました。

当事業を実施したのは、他団体の方々や運動を通じ、一緒に喜びをわかちあったり、悔しがったり、協力し合ったり、励まし合ったりと、人ひととのコミュニケーションを取る事が出来れば、更なる協力関係と新たな信頼関係が構築出来ると考え、実施致しました。

一 懇話会では、各チーム約二〇名で四チームに分かれての対抗戦としました。また、チーム毎三種目を競って頂き、順位毎にポイントが加算され、一番ポイントの高いチームを優勝としました。更に各チーム編成は、他団体や当会議所メンバーをすべてミックスしたチームで、不安と期待もミックスされました。

長野パルセヒロサポーターズスクリーンチャーターダナガノの安藤様の選手宣誓と共に熱く、楽しい戦いの火ぶたは切られました。

第一種目は運動会でおなじみの玉入れです。玉入れのかごは二段構えで上と下にかごを設置し、下のかごに入ると一点、上のかごに入ると二点とした変則的な玉入れにしました。その結果、下のかご

に入った玉の数が少なくても上に入った玉の数が多ければ逆転出来るという事で、上のかごの玉を数える時には誰もが息をのむ程ドキドキした玉入れになりました。

第二種目はボールリレーを行いました。この競技は、ピンポン玉・テニスボール・サッカーボール・バスケットボール・直径一二〇cmある大玉を使用し、リレーを行うものでした。大人から子供まで本気でリレーする姿は、迫力満点でした。

休憩時は、子供達全員参加によるパン食い競争を行いました。パン食い競争を知らない小さなお子様もいて、なかなかパンに食い付けない子供もいましたが、なんとか皆ゴールでき、楽しんでいただけたと思います。

第三種目は綱引きを行いました。二種目終わった時点で、四チームの点数が同点で、綱引きに勝ったチームが優勝というところもあり、かなりの白熱した競技となりました。

チームより競技人数が少なかったのですが、それをものともせず優勝したという事は、明らかにチームの団結があったからではないでしょうか。



2012年度 南長野の魅力創造委員会 副委員長 佐藤 寛



佐藤 寛

